



西まわりバイパス開通の余波

花園・池亀町

今年4月19日、熊本市西南部地域にとつて長年の懸案だった西区を通る「花園上熊本線」、通称西まわりバイパスが開通しました。開通したのは、県道熊本田原坂線から島崎トンネル北側を結ぶ約2.1キロの区間です。

これまでJR上熊本駅方面に向かう道路や熊本電鉄の踏み切り周辺では、日常的に朝の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生していました。これらを解消しようと新しい道路が開通したのでした。

ところが従来の課題が解消すれば、おのずと新たな問題が生じるのが世の常です。開通直後より地元住民の方々から「スピードを出して走行する車両の多さに困惑している」「速度抑制の対応を！」

「通学時の子どもたちの危険度が増した！」との声が多く寄せられ、下記の2カ所について関係機関に調査を依頼した結果、以下の対応が決定しました。

※池亀町では開通後、追突、出会い頭等の物損事故が4件発生していました。自治会役員によると「熊本田原坂線を避けて、抜け道から出てくる車が多いので速度標識が必要」とのことでした。そこで地点①（上熊本三陽自動車学校西側）に最高速度標識を設置します。



※花園5丁目、山王団地北西側の交差点（写真②）は、私も朝の登校時に現場で確認しましたが、自治会役員の皆さんが児童を安全に通行させるために横断歩道で旗を振って車を停止させていました。皆さんからは「交通量が増したため、朝の登校時の児童や歩行者が横断できない状況にあるので、押しボタン式信号機を設置してもらいたい」との要望がありました。そこで手押し式信号の取り付けが決定し今年度中に設置されます。



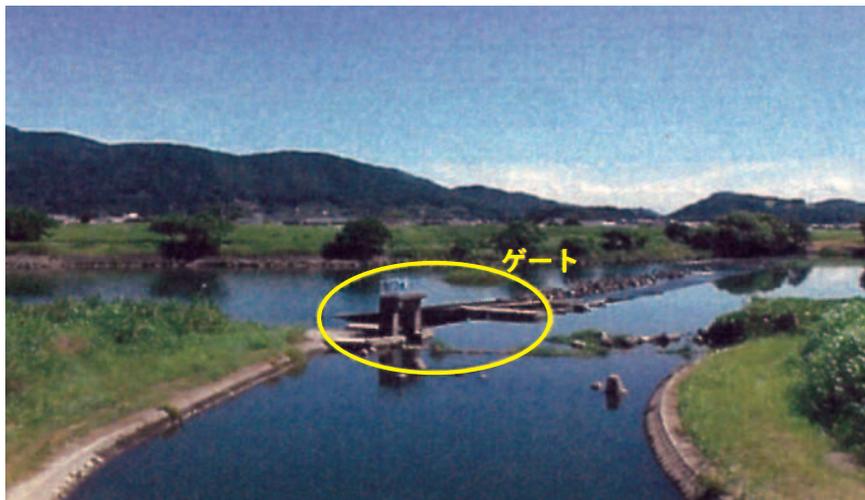
急傾斜地崩壊防止工事 池田1丁目

9月21日、石川県能登地方で記録的な大雨により、川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ尊い命が犠牲になりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。まるで生命が宿り怒り狂っているような茶色の濁流が木々や家々を次々飲み込んでいく様、山が崩壊し土砂が崩れ落ちる光景は何度見ても背筋が凍ります。

さて熊本地震の際、熊本市内の数力所でも崖崩れが生じたことは記憶に新しいところです。昨年、池田校区住民の方から自治会を通して急傾斜地への新たな対応を求める相談がありました。

早速関係機関に対応を依頼し、ご覧のように**崩れが助長・誘発されないようにコンクリートで固めて、鬱蒼と生い茂った樹木等を伐採した**のでした。引き続き墓地の南側斜面の伐採も視野に取り組んでまいります。





井樋山堰 (いびやまぜき) 改修工事

9月初旬、「令和の米騒動」と呼ばれるコメ不足で各地のスーパード品薄状態が続きました。背景には8月8日に南海トラフ地震の臨時情報が発表されたことが影響したようです。さらに店頭で品薄になっていっているというメディアの情報が一気に拡散し、パニック買いに拍車をかけたようです。

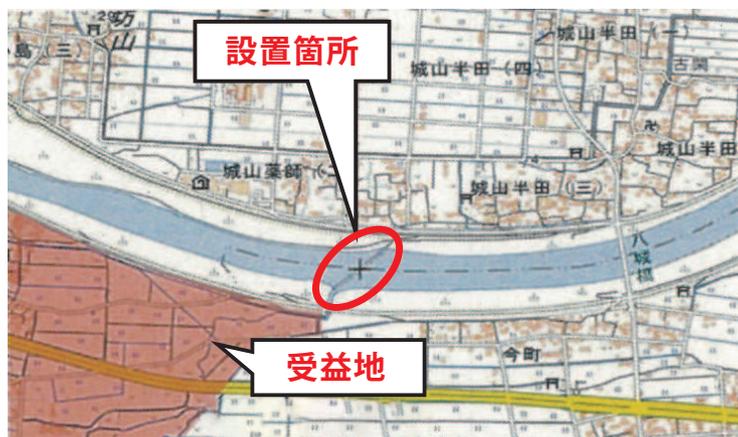
米といえば今年7月、ある方から「このままでは来年の作付けに影響が出ます、迅速な対応をお願いしたい」と悲痛な声で連絡がありました。話によると白川に設置してある井樋山堰(いびやまぜき)が突然故障したというのです。

井樋山堰とは1999年、白川の南区今町地点に設置された農業用水を取水するための堰です。取り込んだ用水は中島、甲島、無田口：の約420戸の農家、面積にして426ヘクタールの農地を潤し、主な作物として米、トマト、茄子、メロンなどがあります。

今回の故障は油圧配管の不具合で用水を取り入れる際のゲートが起立できずに倒れたままの状態でした。故障直後、農区の皆さんが繰り返し油圧ポンプでゲートを立ち上げても結局倒れてしまいます。このままでは来年度の田植えに支障をきたす恐れがあるので、早期に復旧してもらいたいとのことでした。



申し上げるまでもなく農家にとって水の確保は存亡の危機に関わります。一報を受けて県の窓口にも一刻も早く市と連携して対応するよう依頼しました。早速、両者間で計画の申請、承認、補助金の内示、交付決定前着承認等が迅速に行われました。



その結果、10月中旬工事着工、来年3月工事完了(予定)↓来年6月の水稲作付けに間に合う見通しが立ちました。改めて関係者、中でも関係機関の技術支援や工事完了までの進捗管理等の尽力に深謝致します。

高島和男事務所

〒862-0962 熊本市南区田迎 2-17-7

届けます！あなたの思いを県政に 高島和男サポーター募集中です！

TEL.096-288-6004 FAX.096-288-6009

動画を毎月公開しております！ ホームページをぜひご覧ください。

<https://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています！

